

**M I N A T O ビジョン・タウンフォーラム  
福祉・保健グループ**

**会議録（第2回）**

**■開催日時・場所・出席者**

日 時：令和7年9月3日（火）18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階 研修室

メンバー：10名（欠席者3名）

【内訳】対面参加8名、オンライン参加2名

事務局：企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、保健福祉課長、高齢者支援課長、生活衛生課長、委託事業者3名（うちファシリテーター1名、記録者1名、グラフィックレコードナー1名）

**■次第**

（開会）

1 事務局より連絡

・本日の会議について

2 検討テーマに関する議論

・2040年の港区のうれしい姿・避けたい姿  
・2040年から2025年の港区民へのメッセージ

3 事務局より連絡

・第3回グループ会議の内容等

（閉会）

**■配付資料**

資料1 第2回グループ会議進行資料

資料2 第3回グループ会議に向けて

**■貸与資料**

なし

## ■会議要旨

### (開会)

リーダーより、第2回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言が行われた。

### 1 事務局より連絡

事務局より、本日の会議の進め方等について説明が行われた。

### 2 検討テーマに関する議論

ファシリテーターより、資料1を基に、ワークショップの趣旨や進め方について説明が行われた。

ラウンドごとに意見を付箋に書き出して発表しながら、模造紙上で意見を分類してまとめた。

#### (1) 練習ラウンド① 過去15年の港区の変化

##### (主な意見等)

参加者：マンションが増えた、子育てがしやすい、外国人が多くなった。

参加者：高層ビルが増えた、風が強くなっている、自転車が増えた、住民のマナーが悪くなつた、外国人が増えた。

参加者：駅が混在している、小学校が増えた、空き地が減少し緑が減った。

参加者：ＩＴが進んだ（オンライン会議、テレワーク）、外国人（旅行者を含む）が増えた。

参加者：家賃とマンションが高くなつた、都市開発が進んだ、保育園が多くなつた、子育て支援が手厚くなつた。

参加者：タワーマンションが多くなってきた（特にお台場地区。海の風がしなくなった）、緑化が進んでいる、深夜まで営業しているお店が少なくなった（繁華街）。

参加者：高層ビルが多くなっている、保育所が多くなっている、商店街・個人営業店が減少している。

参加者：土地が高くなつた、マンションが増えた、再開発が進んだ、高齢者が増えた、バリアフリー化が進んだ、孤立化が進んだ。

参加者：交通手段が多様化している、少子高齢化が進んだ（子育ての支援が増えた）、行政の新しい動きがある（例：ふるさと納税、役所のDX）、ＬＧＢＴＱ概念の理解度が高くなつた。

#### (2) 練習ラウンド② 15年前の港区民へのメッセージ

##### (主な意見等)

参加者：個人商店の減少に対して人間を守る意識を持つこと。高齢者の支援を引き続き頑張ってほしい。災害のレジリエンス強化を進めてほしい。

参加者：災害に備えてほしい。子育てが充実するので出産をあきらめないでほしい。人との対話を大切にしてほしい。人間が持つかん大事にしてほしい（携帯・技術に頼るのではなく）。

参加者：土地の高騰化を避けるために家を買ったほうがいい（特にマンション）。土地の高騰化の対策をしてほしい。子どもを産む時期を遅らせたほうがいい（子育て支援、リモートワークが進むので）。

参加者：子育て支援を引き続き頑張ってほしい。外国人対策に取り組んでほしい。ＩＣＴに取り組んでほしい。

参加者：自治会・老人会の見直しを早くしてほしい（旧住民・新住民との交流ができなくなつてし

まうので)。ＩＣＴを活用してほしい。室内の広場をつくる(子どもが夏遊べるように)。計画的にマンションの緑を増やしてほしい。駅の混雑対策として憩いのスペースを作ってほしい。

参加者：港区ブランドとマスコミとの関係(マンションの急激な増加につながったのではないか)。工事現場を避けるために区に頑張ってほしい(スマートシティの見直し)。

参加者：子どもが遊べる場所を増やしてほしい(それを意識した都市開発)。緑が減っている(遊具だけの公園など)ので、緑を増やす・維持してほしい。外国人児童が増えているので、外国人の子どもとの交流が一般的となるような教育を推進してほしい。

参加者：グローバル化によって利便性は高くなるが、満足度は低下していくので、対策を実施してほしい。数値上の経済は良くなるが実際の人々の暮らしは違う。

参加者：地球温暖化・子育て支援を早めに実施してほしい。交通ルール・都市開発の計画性を徹底してほしい(国・都との連携)。社会的弱書(高齢者、子育て世代、ＬＧＢＴＱなど)の声を聞いた開発を進めてほしい。

### (3) 第1ラウンド 2040年の港区のうれしい姿・避けたい姿

(主な意見等)

参加者：うれしい姿：医療サービスが充実している、健康寿命が延びている、ボランティア精神が活発している。避けたい姿：保険料が高すぎる・サービスが低下している、高齢者が活躍できる場所がない。

参加者：うれしい姿：多様な人と集う場がある、一人暮らし高齢者が楽しく元気でいられる、子ども食堂は多様食堂(多国籍食堂)となっている。避けたい姿：アンコンシャスバイアスが残っている、外国人才オーバーツーリズムによるルールのみだれ。

参加者：うれしい姿：3歳までお母さんとずっとといられる子育て支援、大学病院だけでなく診療所も近くにある、近所づきあい(声かけあうような社会)となっている。

参加者：うれしい姿：出産費用がない(全額補助)、在宅医療サービスが充実している、介護負担がない。避けたい姿：閉院が増えている、病院が選べない環境となっている。

参加者：うれしい姿：妊娠・出産にかかる医療費が保険適用、医療サービスが増えている、福祉に関わる喜びが子どもに広がる、健康診断(人間ドック)が広がる。避けたい姿：医療従事者を目指す人が減っている、介護に対する認識がひろがっていない。

参加者：うれしい姿：バスが減っている、高齢者介護施設が充実している。避けたい姿：高齢者・子育てがでかけを躊躇する環境となっている。

参加者：うれしい姿：障がい者も現役の区民となっている、社会的弱者(高齢者、障がい者、若者、多国籍)が雇用されている。避けたい姿：格差(裕福な人とそうでない人の差が見えやすい。親の所得階層がそのまま子どもに引き継がれる社会)が固定化されている、チャレンジができない区となっている(セカンドキャリアが自由に選択できない)。

参加者：うれしい姿：子どもが多くなっている、妊娠中に無理に働くなくても良くなっている、介護手続きが全てオンライン化されている、介護サービスの施設が充実している(高齢者が増えたため)。避けたい姿：子どもが少なくなっている、障害児の病育施設が少なくなっている、高齢化が悪化している、介護関連の仕事の給料が安すぎてなりたい人が減っている。

参加者：うれしい姿：多世代交流が活発になっている、町会が機能している(地域との連動が出来て

いる)、特別区全国連携プロジェクトの見本として地方自治体との連携が強化されている。避けたい姿：近代都市を追究した都市構想によって利益重視のまちになっている。

参加者：うれしい姿：出歩きやすいまちとなっている(交通、バス、自転車、車いすの優先席・置き場の充実)、危なくないまちとなっている(緑が多く日陰・ベンチがある、ルールが守られている)、障害者手帳と同じような制度が難病支援にもある、医療・治療のオプションが多い、仕事を休んでも元に戻れる社会になっている(履歴書の空白による偏見・差別等がない)、介護・子育て従事者の所得が高くなっている。避けたい姿：治安の悪いまち、高齢者の介護施設が高くなっている(例えば在宅酸素)、高齢者・障害者・難病者の行き場・居場所のない社会となっている(社会的役割がなくなっている)。

参加者：うれしい姿：全ての世代が共存できるまちとなっている、各世代の偏りがないまちとなっている。

参加者：うれしい姿：妊婦健診が無償化されている。

参加者：避けたい姿：孤立・孤独死が多くなっている。

#### (4) 第2ラウンド 2040年から2025年の港区民へのメッセージ

##### (主な意見等)

参加者：近所づきあいのためにお隣の人とあいさつをしよう。港区に生まれた子どもに港区が好きになってほしい。投票に行こう(投票率が低いため)。

参加者：血縁よりも地縁を持ってほしい。コミュニティの場を作る・育てることが大事だ。災害に備えてほしい。自分に必要な情報・ネットワークを構築する(医療に関しても)。ITを最低使いこなせるようになったほうがいい。

参加者：障害者の現役活躍のために頑張ろう。社会的コストが増えすぎないようにIT・技術を活用しよう。

参加者：老人を介護してくれる子どもを大事にしよう。孤独死を避けるために近所づきあいを大事にしよう。人との連絡をしよう(見守り)。

参加者：人と話そう(AI・ロボットは増えるが)。孤独死にならないように孤立を防ぐために隣人・友人を大切にしよう。世代・国籍の壁をのぞいて助け合い精神を持とう。格差をとっぱらうために受け身ではなく全員が主役・リーダーの区民になろう。

参加者：ホームドクター制度で区民を見守る仕組みを作ってほしい。障害者ができるだけ同じような施設・学校に行けるようにしてほしい。高齢者の貧困・孤立の防止を行政の仕事として捉えてほしい。お互いを見守る区民になってほしい。介護制度を見直してほしい。

参加者：健康寿命を延ばすためにできることをしよう(医療費の削減にもつながる)。知りたい情報を受け取りやすくしてほしい。生まれた子どもが楽しく過ごせる場所を増やしてほしい。保険で受けられる医療を増やしてほしい。

参加者：健康診断を受けるようにしよう。地域の人との交流をしよう・地域のイベントに参加しよう。自分のライフプランを考えよう。

参加者：誰一人取り残さない街づくり・仕組みを作ってほしい。高齢者は終活のための準備・勉強をしよう(尊厳死も重要だと考えている。人に迷惑をかけない終活)。

参加者：障害者・難病関係なくあきらめないでコミュニティに還元できる活動をしよう。スキルアップを怠らないようにしよう。病気にならないように自分に合った働き方・生き方をしよう。

介護・保育の仕事の福利厚生を充実させ若者をなりたくさせよう。地域との関わりを積極的にしよう。医療のオプションを増やしてほしい。

参加者：共に生きるためにお互いを尊重し合ってほしい。

参加者：介護・ケアマネ制度を手厚くしてほしい。

### 3 事務局より連絡

事務局より、資料2を基に、第3回グループ会議の内容等について説明が行われ、次回会議及び報告会の日程が確認された。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。

以上